



THE Y'S MEN'S CLUB OF AIZU
会津ワイズメンズクラブ
CHARTERED ON FEB. 1993



2021～2022 年度主題

| | | |
|---------|---------------|-----------------------|
| 国際会長 | キム・サンチェ (韓国) | 「世界とともにワイズメン」 |
| アジア地域会長 | 大野 勉 (神戸ポート) | 「100年を越えて変革しよう」 |
| 東日本区 理事 | 大久保 知宏 (宇都宮) | 「私たちは次の世代のために何ができるか？」 |
| 北東部 部長 | 南澤 一右 (仙台青葉城) | 「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」 |
| 会津クラブ会長 | 青山 孝男 | 「そろそろ歩みを考える時」 |

<No.299 会津通信>
2021年11月15日発行

| | |
|-----|------|
| 会長 | 青山孝男 |
| 副会長 | 高橋真美 |
| 書記 | 高橋真人 |
| 会計 | 高橋真人 |

◇11月の聖句 ◇

祈る時にも、あなたがたは偽善者のようであってはならない。偽善者たちは、人に見てもらおうと、会堂や大道りの角に立って祈りたがる。はっきり言っておく。彼らは既に報いを受けている。

マタイによる福音書 6章5節

11月例会

日時:2021年11月15日(火)19:00～

場所:高橋真美宅

司会:高橋 京子ウィメン

- 1.開会点鐘 会長
- 2.ワイズソング 一同
- 3.会長挨拶 会長
- 4.連絡報告
- 5.聖句朗読 高橋 真人メン
- 6.食前感謝
- 7.協議 クラブ解散準備
8. Happy Birthday! Happy Anniversary!
21日 高橋真美さん
- 9.閉会点鐘 会長

巻頭言

歌は武器より強く素晴らしい!

高橋 真美ウィメン

今月のブリテンの原稿をと書き始めた途端、テレビからビートルズの「ヘイ ジュード」が流れてきた。久しぶりに音楽を聴きながら事を進めるのもいいなと音量を上げる。ところがそれは 20 年間も自由を求めて闘い続けてきたチェコの女性歌手 マルタ クビジョバのドキュメンタリー番組。それからの私はテレビの前から動けず、一時間半の番組を見入ってしまった。チェコスロバキアは 1948 年以降スターリン的締め付けがありそれに対する反発があり、

1968 年 1 月からドブチェック第一書記が就任し言論の自由化などが進む。(プラハの春)しかしこの改革はチェコの共産圏からの離脱と東欧諸国への波及を恐れるソ連の介入を招き、同年 8 月 21 日にソ連軍と東独軍がプラハに侵攻し武力弾圧が始まった。

そしてその締め付け、弾圧は 1989 年 11 月 9 日のあのベルリンの壁崩壊まで続いた。この 1968 年 8 月にはビートルズが設立したアップルレコードから第一弾シングル盤として「ヘイ ジュード」が発売された年でもあった。そして、チェコでも若者たちは競ってこのレコードを購入したと言われる。が、プラハの全土は武力弾圧一色になっていく。この状況の中でマルタ・クビジョバはこの「ヘイ ジュード」をチェコ語に訳詞し放送局に持ち込む。

そして、このマルタ作詞の「ヘイ ジュード」は自由を希求し続ける人々の背中を押し続ける力となっていく。大袈裟でなく全世界の若者たち(だけではない)を熱狂させたグループ・サウンズの曲に乗せて歌う歌手マルタのメッセージが過酷な弾圧に立ち向かう人々の支えになっていく。しかしその言葉は決して過激なものではなく、だれにでもわかる普通の易しい言葉。でもそれを聞いた人々はそれぞれの自分の人生を信じてことができ、今の「不幸の裏にある「真実」を教えてくれる」彼女の暖かいことばが疲れた心を胸を抱きしめてくれる。このマルタの「ヘイ ジュード」を聴きながら、1992 年から休みなく発行してきた「ブリテン」に掲載された会員の言葉に改めてその時の活動や思いを読み返したいとおもう今の私がいる。

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う